

## 国際社会学 『アメリカらしさの諸層』

講師： 東京外国語大学 大学院教授 金井光太郎氏

が終了しました

ほとんど外国社会・文化などに触れることのない（TVなどで知る程度）私としては、外国の空気を運んでくれる国際社会学は、楽しみの講座です。

今回のテーマは6回講義『アメリカらしさの諸層』でした。が、ダブル台風（27号・28号）の襲来により10/16（土）第一回講義が中止となり、都合5回で6回分の内容を、時間を延長しながらカバーするというものでした。

先生のエネルギッシュでパワフルな講義展開と、『～おかشかないか？』等などの金井節（あるいは光太郎節）・・・先生、失礼です・・・で、時間を忘れて聞き入ってしまいました。

講義テーマ主旨「アメリカらしさの系譜、その時々々の課題となったものをアメリカらしく解決」については、解決方法が良い・悪いは別としても、アメリカらしさが伝わってきました。ただ、『圧勝の正義』は危ない！ですね。

そして、現在進行形のオバマ革命「熟議デモクラシー」の結果には、おおいに期待したいところです。



↓ 講義前の風景



講義開始時の風景 ↓



↑ 講義中の風景



すべての講義終了時の挨拶風景 ↑

受講生の多くは、60～70歳代の方が大半でしたが、大学生を含め、働き盛りの20～50歳代の人により役立つ内容と思われます。映画鑑賞などに出かけると同じように、軽い気持ちで『富士見市民大学の国際社会学』に立ち寄ることをお勧めしたいです。

私は、スケジュールの都合で、残念ながら歯抜けの受講となってしまいましたが、資料には著書名が記載してありますので、先生への感謝の意を込めて、買い求め勉強したいと思います。また、当講座の企画をされた、吉崎 徹 氏にも感謝です。

・・・報告 2013.12.14 S・H

以下

講師プロフィールと、  
当講座の企画ドライバーの吉崎氏が準備された資料  
を記載します。

## 講師プロフィール

金井 光太郎（かない こうたろう）

東京外国語大学大学院(国際社会部門)教授  
国際社会学部副学部長  
歴史学者。専門：西洋史。アメリカ政治史  
アメリカ学会所属（学術的研究）

1978年 東京大学法学部卒業

1980年 東京大学大学院法学政治学科修士課程修了

1981年 東京大学社会科学研究科助手

1985年 ブラウン大学大学院歴史学研究科博士課程修了（アメリカ・ロードアイランド州）  
1764年創立。東部アイヴィー・リーグ8校の一つ

1989年 南山大学外国語学部助教授（名古屋市 カトリック系）

1997年 東京外国語大学外国語学部教授

2009年 現職

著書・共編・共訳

『ベンジャミン・フランクリン、アメリカ人になる』ゴートン・S・ウッド著

慶応義塾大学出版会（2010年発行）共訳

『アメリカの愛国心とアイデンティティー 自由の國の記憶・ジェンダー・人種』彩流社

（2009年発行）編集

『原典アメリカ史— 社会史資料集』岩波書店（2006年発行）

『長い18世紀のイギリス— その政治社会』山川出版社（2002年発行）

『アメリカにおける公立性革命国家：タウン・ミーティングと人民主権との間』木鐸社

（1995年発行）

『常識のアメリカ、歴史のアメリカ、歴史の新たな胎動』木鐸社（1995年発行）

『アメリカン・システムから大量生産へ— 1800-1932』テーヴィット・Aハウンシェル著 翻訳

その他出版図書・論文・翻訳物多し

※[ 地域研究に基づく「世界史」教育の実践的研究 ]に対し、史学一般部門の代表者として  
金井教授は、2013年～2016年にわたり、科学研究費の助成金対象に選出される

**国際社会学「アメリカらしさの諸相」 3つのキーワード**

期間：2013/11/9-12/14 回数：5回  
 講師：東京外国語大学大学院教授 金井 光太郎

回	月日	大統領ほか	1	2	3	備考
1	11/9	フランクリン	セルフ・メイド (自力)	公共性 (理念による 民主主義国家)	国際性	・機会と成功が誇り ・ビジネス才知/大学創設 ・キリスト教の配分意識
2	11/16	リンカン (16代)	平等の理念	自由と平等	独立宣言と 憲法の融合	・奴隷解放宣言 ・民主共和制 (人民主権/ 多数決/公共利益)
	11/16 11/30	フォード	豊かな社会	大量生産 大量消費の 大衆社会	福祉国家	・大衆車T型車の普及 ・商品選択による自由なラ イフスタイル
3	11/30	キング	セグリゲーション (人種隔離)	非暴力抵抗 運動	公民権運動	・ガンディー (塩の行軍) ・ネルソン・マンデラ (アパルトヘイト)
		レーガン (40代)	レーガノミッ クス	カラー・ブラ インド	新自由主義	・米国の復権(反共) ・政府の供給力強化 ・地方自治の推進
4	12/7	ローズベルト (32代)	戦争	平和	正義	・ニューディール政策 ・第2次世界大戦参戦 ・20世紀リーダーは米国
		ウイルソン (28代)	戦争なき世界	可能性	モンロー主義 (5代)	・国連提唱/IMF/世銀 ・核管理/マーシャル・ プラン/ベトナム戦争
5	12/14	オバマ (44代)	熟議	プラグマ ティズム	理念と妥協	・権利革命/多文化主義 ・熟議デモクラシー ・デューイ (実用主義)

< 『アメリカらしさの諸層』 を講義資料から、諸層を列記しました >

- I **勤勉の層**： フランクリンと成功の夢——セルフ・メイドが誇りとなる国
- II **理念の層**： リンカンと理念の共和国——独立宣言と憲法との合体の妙
- III **個人主義の層**： フォードと大衆社会——商品選択による自由なライフスタイル
- IV **平等の層**： キングの夢とレーガンの革命——カラー・ブラインドな社会
- V **平和と繁栄の層**： ローズヴェルトとアメリカの世紀——戦争・平和・正義
- VI **デモクラシーの層**： オバマが変えたもの——熟議とプラグマティズム

I 正しいものはどれですか…A・B・Cのうち一つを選びなさい

	質問内容	A	B	C
1	在職中に初めて来日した大統領は	カーター	レーガン	フォード
2	面積の最も大きい州はどこ	テキサス	アラスカ	カルフォルニア
3	人口の最も多い州はどこ	カルフォルニア	テキサス	ニューヨーク
4	世界人口で日本(1億2700万)の順位は	7番目	9番目	10番目
5	オバマ大統領の上院時代の出身州は	ハワイ	イリノイ	ニューヨーク
6	アメリカ大統領はいま何代目	34代	39代	44代
7	安倍首相はいま何代目(初代:伊藤博文)	76代	86代	96代
8	桜の返礼に米国から日本に贈られた木は	スギ	ハナミズキ	カエデ
9	アメリカの国花は	バラ	ユリ	パンジー
10	アメリカの国鳥は	コンドル	ハクトウ鷲	ヒ熊
11	リンカンの所属した党名は	民主党	共和党	ホイック党
12	歴代で最も背の高い大統領は誰か	リンカン	ウイルソン	オバマ
13	ローズベルト大統領の在職期間は	4年	8年	12年
14	キャロライン駐日大使の父親は	アイゼンハワー	ケネディ	ジョンソン
15	ノーベル平和賞を受けた大統領は何人か	1人	2人	3人

⇒ 最後のページに解答あり

※ II 世界の人口(出所)2012年 国連統計 (アメリカは日本人口の2.5倍)

- 1位… 中国(13億5,400万)                      2位… インド(12億2,300万)  
 3位… アメリカ(3億1,400万)  
 4位… インドネシア(2億4,400万)              5位… ブラジル(1億9,800万)  
 6位… パキスタン(1億7,800万)              7位… ナイジェリア(1億6,400万)  
 8位… バングラデシュ…(1億5,000万)      9位… ロシア(1億4,200万)    10位… 日本(1億2,700万)

※ アメリカの人種別割合(%)

白人(63.7) ヒスパニック(16.3) 黒人(12.2) アジア系(4.7) 先住民(0.7) 混血その他(2.4)

※ アメリカの最も多い先祖(%)

ドイツ人(15.2) アイルランド系(10.8) アフリカ系アメリカ人(8.8) イギリス(8.7%) メキシコ(6.5)

II 世界の面積(出所)2012年 国連統計 (アメリカは日本面積(3,780万平方km)の25倍)

- 1位… ロシア(1億7,100万平方km)              2位… カナダ(9,980万平方km)  
 3位… アメリカ(9,630万平方km)  
 4位… 中国(9,600万平方km)                      5位… ブラジル(8,510万平方km)

## アメリカ合衆国 歴代大統領 1/2

歴代	大統領名	在任期間		党名	主な業績他
1	ジョージ・ワシントン	1789-1797	8年	無所属	初代大統領 連邦制を築く「建国の父」
2	ジョン・アダムズ	1797-1801	4年	連邦党	対仏関係を改善 米国海軍の創設
3	トーマス・ジェファソン	1801-1809	8年	民主共和党	1776年独立宣言起草者 奴隷輸入禁止
4	ジェームズ・マディソン	1809-1817	8年	民主共和党	権利章典作成 各州の憲法制定
5	ジェームズ・モンロー	1817-1825	8年	民主共和党	「モンロー教書」 欧米相互不干渉
6	ジョン・クインシー・アダムズ	1825-1829	4年	民主共和党	2代アダムス長男 奴隷制反対を展開
7	アンドリュー・ジャクソン	1829-1837	8年	民主党	幅広い階層に政治参加の道を開く
8	マーティン・ヴァン・ビューレン	1837-1841	4年	民主党	1837年恐慌の回復に失敗
9	ウィリアム・ハリソン	1841-1841	1月	ホイッグ党	就任後に肺炎で1ヵ月後に死去
10	ジョン・タイラー	1841-1845	4年	ホイッグ党	開発や銀行法案に反対
11	ジェームズ・ポーク	1845-1849	4年	民主党	領土拡大 (カルフォルニア・テキサス州)
12	ザカリー・テイラー	1849-1850	1年	ホイッグ党	メキシコ戦争の英雄 1年4カ月で死去
13	ミラード・フィルモア	1850-1853	3年	ホイッグ党	インディアン排除 日本にペリーを派遣
14	フランクリン・ピアース	1853-1857	4年	民主党	奴隷制が紛糾 日本に領事館を設置
15	ジェームズ・ブキャナン	1857-1861	4年	民主党	奴隷制をめぐる南北対立
16	エイブラハム・リンカン	1861-1865	8年	共和党	南北戦争を戦い奴隷制を廃止 暗殺
17	アンドルー・ジョンソン	1865-1869	4年	民主党	南部再建に拒否権 大統領への弾劾
18	ユリシーズ・グラント	1869-1877	8年	共和党	リンカンの下で北軍司令官 汚職多発
19	ラザフォード・ヘイズ	1877-1881	4年	共和党	公職制度改革 パナマ運河を傘下管理
20	ジェームズ・ガーフィールド	1881-1881	6月	共和党	公務員改革法 暗殺
21	チェスター・アーサー	1881-1885	4年	共和党	公務員法の制定 海軍の再建
22	グローヴァー・クリーブランド	1885-1889	4年	民主党	公務員法の施行 恐慌とストライキ
23	ベンジャミン・ハリソン	1889-1893	4年	共和党	輸入品関税 (50%) の大幅引き上げ
24	グローヴァー・クリーブランド	1893-1897	4年	民主党	再当選 南部退役軍人の年金を拒否
25	ウィリアム・マッキンリー	1897-1901	4年	共和党	スペイン撃破 ハワイ併合 暗殺
26	セオドア・ローズヴェルト	1901-1909	8年	共和党	狼禁法制定 日露戦争講和でN平和賞
27	ウィリアム・タフト	1909-1913	4年	共和党	反トラスト法 ポトマック河畔に桜を植樹
28	ウッドロウ・ウィルソン	1913-1921	8年	民主党	1次世界大戦参戦 国連提唱 N平和賞
29	ウォレン・ハーディング	1921-1923	2年	共和党	ティンボット・ドーム事件 急死
30	カルヴィン・クーリッジ	1923-1929	6年	共和党	移民法成立 相続税・減税を導入

## アメリカ合衆国 歴代大統領 2/2

歴代	大統領名	在任期間		党名	主な業績他
31	ハーバート・フーヴァー	1929-1933	4年	共和党	世界大恐慌発生 保護貿易政策
32	フランクリン・ローズヴェルト	1933-1945	12年	民主党	ニューディール政策 2次世界大戦参戦
33	ハリー・トルーマン	1945-1953	8年	民主党	2次世界大戦終結 日本原爆投下決断
34	ドワイト・アイゼンハワー	1953-1961	8年	共和党	朝鮮戦争の休戦 東西緊張の緩和
35	ジョン・F・ケネディ	1961-1963	2年	民主党	キューバ危機 ベトナム介入 暗殺
36	リンドン・ジョンソン	1963-1969	6年	民主党	公民権法成立 ベトナム戦争泥沼化
37	リチャード・ニクソン	1969-1974	8年	共和党	カンボジア侵攻 WG事件で罷免
38	ジェラルド・フォード	1974-1977	3年	共和党	未選挙の唯一大統領 経済停滞 SALT
39	ジミー・カーター	1977-1981	4年	民主党	人権外交 中東和平合意 N平和賞
40	ロナルド・レーガン	1981-1989	8年	共和党	軍拡路線 反共外交 財政・貿易赤字
41	ジョージ・H・W・ブッシュ	1989-1993	4年	共和党	ベルリン壁崩壊 冷戦終結 湾岸戦争
42	ウィリアム・J・クリントン	1993-2001	8年	民主党	核兵器削減 ベトナム国交正常化
43	ジョージ・W・ブッシュ	2001-2009	8年	共和党	イラク戦争 同時テロ サブプライム
44	バラク・オバマ	2009-		民主党	黒人系初の大統領 医療保険 N平和賞

(出所) グーグル:『アメリカ歴代大統領詳細一覧』

高島昭男著『アメリカ大統領』2004年4月初版

浅井信雄著『アメリカ50州を読む地図』1994年11月発行

マイケル・ケリガン著 / 高尾菜つこ訳『アメリカ大統領…権力と欲望の230年史』2012年3月発行

※ I の解答	1 — B	6 — C	11 — B
	2 — B	7 — C	12 — A
	3 — A	8 — B	13 — C
	4 — C	9 — A	14 — B
	5 — B	10 — B	15 — C